

BARATZA

グラインダー Forté BG

取扱説明書



ブルーマチックジャパン株式会社

目次

はじめに ～主な特徴と仕様～	3
安全上のご注意	5
各部の名称	7
使用方法.....	8
重量計測モード	9
時間計測モード	10
スリープモード.....	10
調整方法.....	11
挽き目の調整方法	11
プリセット値の更新方法	11
重量オフセット値の更新方法	12
重量計の校正方法	12
お手入れ	13
豆ホッパー、パウダーストッカー、本体の清掃（週に1回以上）	13
カッター刃の分解清掃（1か月に1回以上）	13
グラインダークリーナーを使用した清掃（1か月に1回）	14
カッター内刃の交換（累計で250Kgまたは10年以上経過したとき）	14
消耗品.....	15
エラーコード	15
トラブルシューティング.....	16
保障とアフターサービスについて	17

はじめに ～主な特徴と仕様～

このたびは、コーヒーグラインダー[Forté BG]をお買い上げいただきありがとうございました。

本製品はドリップコーヒー専用の業務用豆挽き機です。エスプレッソ用の極細挽きには調整できません。

ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。

<主な特徴>

ドリップ用フラットディスク型刃

ドリップコーヒーに適した中粗挽き粉を挽くことができるフラットディスク型カッター刃を採用しています。54mmの鉄製フラットディスク型刃は、設定により1秒あたり1.2g～2.4gのコーヒー豆を挽きます。

適正なお手入れをしていただくことでブレード型カッター刃やコニカル型カッター刃に比べ粒の大きさが揃った良質なコーヒー粉を挽くことができます。

挽き目調整

10段階のマクロ調整と26段階のミクロ調整の組み合わせにより、ドリップ、サイフォンに適した粒度に調整することができます。また、中粗挽きから細挽きまで230ミクロンから1150ミクロンの幅広い粒度に調整してお使いいただけます。

2つの計測モード（重量計測と時間計測）を選択可能、3つのプリセット

重量計測と時間計測の2つの計測モードに対応しております。また、各計測モードに対し、3つのプリセット値を登録できます。スタートアイコンをタッチするだけで、選ばれているプリセット番号に設定された重量または時間になるまで自動的に1回分の分量の豆を挽きます。重量は0.1g単位、時間は0.1sec単位で設定できます。

<主な仕様>

機種名	グラインダー Forté BG
寸法 (mm)	H360mm×W130mm×D180mm
定格電圧	100V AC 50/60Hz
消費電力	120W
製品重量	約 6kg
カッター刃 (内刃) 仕様	ドリップ用 BG 刃 (Ditting 社製)
自動計測仕様	重量計測または時間計測
プリセット番号アイコン数	3 個
豆ホッパー容量	約 300g
パウダーストッカー容量	約 150g
プリセット設定範囲	重量 : 0g ~ 120g 時間 : 0 秒 ~ 60 秒
挽き目調整	スライド式 : マクロ 10 段階、ミクロ 26 段階
推奨最大使用量	650g / 日
1 回の最大使用量	120g / 回

<同梱品>

部品名称	数量
Forté BG (本体)	1 式
ホッパー蓋付き	1 式
パウダーストッカー	1 個
カッター刃取外し治具	1 個
カッター刃清掃用ブラシ	1 本
変換プラグ	1 個
取扱説明書 (保証書付き)	1 部

カッター刃取外し治具



カッター刃清掃用ブラシ



変換プラグ



※カッター刃清掃用ブラシや変換プラグは、予告なく変更される場合があります。

安全上のご注意
(安全に関する重要事項ですので必ずお読みください)

本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使いください。

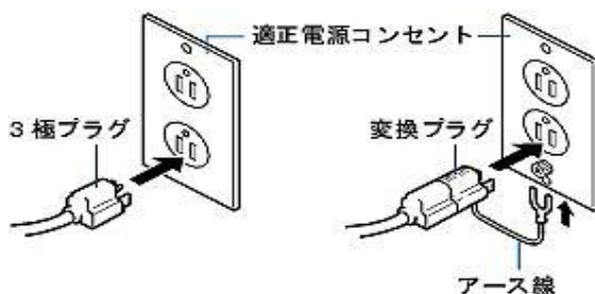
表示されているマークの説明

 **警告** この表示は、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

 **注意** この表示は、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う、若しくは他の人的物的損害が発生する可能性があることを示しています。

 **警告**

・感電防止のため、電源プラグの接地端子（アース）は、必ず接続してください。

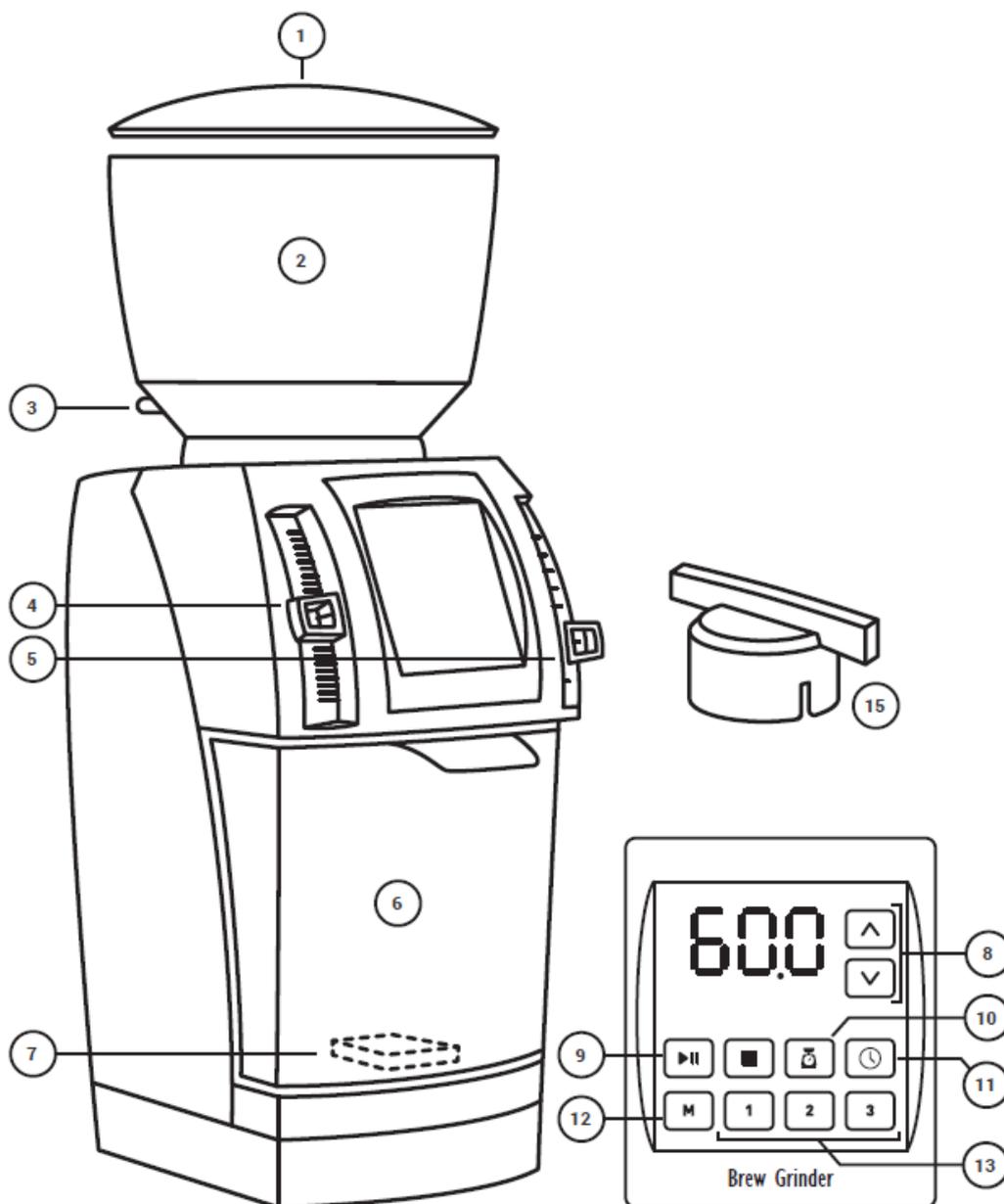


- ・本製品(電源コードや電源プラグを含む)の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行わないでください。
修理や分解組立が正しく行われないと、製品が正常に作動せずに感電や火災などの原因となります。
(但し、取扱説明書に記載されている清掃や調整は、電源プラグを抜いて行えば安全です。)
- ・本製品を改造しないでください。感電や火災の原因となります。
- ・異常が発生した場合には、速やかに電源プラグをコンセントから抜いて、すぐに販売店もしくはサービスセンターに連絡をしてください。(電源プラグを抜く際は感電しないように注意してください。)
- ・本製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性があるときには、速やかに電源プラグを抜き、販売店もしくは弊社コールセンターに連絡をしてください。そのまま使用すると感電や火災などの原因となります。
- ・本製品に水がかかった場合や近くでガス漏れの可能性がある場合には直ちに使用を止めてください。
ガス漏れの際には、使用されているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。
- ・電源プラグや電源コードを濡れた手で触らないでください。感電の原因となります。

注意

- ・電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。電気製品を取扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用ください。
- ・本製品の点検やお手入れをする際には、必ず電源プラグを抜いて行ってください。感電や怪我の原因となります。
- ・電源プラグをコンセントへ抜き差しする際には、電源プラグや電源コードの取扱いに十分に注意してください。また、電源コードに人や物が絡まったり、つまずいたり、踏まれたりしないようにしてください。感電や火災、怪我の原因となります。
- ・長時間本製品を使用しないときには、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・本製品の電源コード、電源プラグや本体を水や液体に浸さないでください。火事や感電、故障の原因となります。
- ・お子様の手が触れない場所でご使用ください。
- ・部品の取付け、取外し、または清掃をする際には必ず電源プラグを抜いて行ってください。
- ・変換プラグは、付属品以外のものを使用しないでください。火事、感電や怪我の原因になることがあります。
- ・屋外では使用しないでください。
- ・ガスコンロ、電熱器やオーブンなどの熱くなる機器の上やそばに置かないでください。
- ・電源コードは、温度が高くなる機器を避けて引き回してください。
- ・本製品は業務での使用(短い期間のグラインド)のために設計されたグラインダーです。
1日当たり最大 650g 以下、1ヶ月当たり最大 20kg 以下の範囲でお使いください。
- ・本製品はコーヒー豆用のグラインダーです。生豆や挽いた粉状の豆や他の原料を挽かないようにしてください。故障の原因になります。

各部の名称



1	豆ホッパー蓋	8	プリセット値調整アイコン
2	豆ホッパー	9	スタート/ストップアイコン
3	ホッパーガード	10	重量計測モードアイコン
4	挽き目調整レバー：ミクロ	11	時間計測モードアイコン
5	挽き目調整レバー：マクロ	12	マニュアルモードアイコン
6	パウダーストッカー	13	プリセット番号アイコン
7	重量計	15	カッター刃取外し治具

※電源スイッチはありません

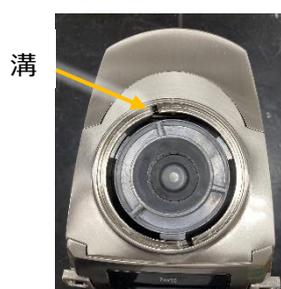
使用方法

初めてご使用になるときは、豆ホッパーと豆ホッパー蓋、パウダーストッカーを食器用の柔らかいスポンジと中性洗剤を使用し洗浄して、水気を拭き取って完全に乾燥させてから開始してください。

<準備>

1. 本製品を平らな場所に置いてください。
2. 豆ホッパーのホッパーガードを後左方に向けた状態で爪を本体の溝に合わせて真上から挿入し、時計回りに止まる場所まで回して本体に固定してください。このとき、ホッパーガードは真後ろの向きになります。

※豆ホッパーが正しい位置に固定されていないと、本製品は作動しません。



本体を真上から見た図



ホッパーの爪を本体の溝に挿入

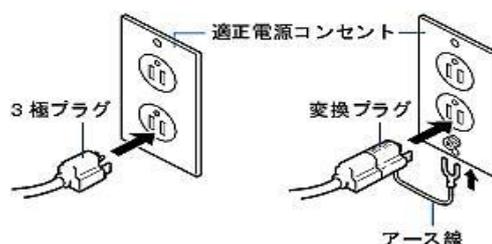


ホッパーガードが真後ろになるまで回転

3. パウダーストッカーの正面のつまみを持ち、重量計の上に均等に乗るように位置をあわせ、水平に挿入してください。パウダーストッカーが重量計以外の本体側面などに接触していると、重量計測の結果に影響します。
4. 挽き目調整レバーで、挽き目の設定をします。
メーカーの推奨目盛り（細挽き：4M、中細挽き：6M、中挽き：7M、中粗挽き：9M）を参考にお好みの粒度に目盛りを調整してください。（挽き目調整方法については P11 参照）
5. コーヒー豆を豆ホッパーに入れ、蓋を閉めます。



6. ホッパーガードを[OPEN]の位置に回してください。コーヒー豆が投入口に入っていきます。
7. 電源コードを 100V 15A 接地付きコンセント（接地タイプ）に差し込んでください。
接地付きコンセントが無い場合は、変換プラグを取付け接地（アース）してご使用ください。
約 3 秒の初期化動作後、使用可能な状態になります。



<重量計測モード>

1. [] をタッチしてください。アイコンに輪郭が表示され [] に、単位が [Gr] に切り替わります。
※水平で安定した場所に置き、挽いている最中はパウダーストッカーを触らないでください。
傾いている場所や振動する場所に置いたり、挽いている最中にパウダーストッカーに触ったりすると、重量計測が正しく機能しません。

プリセット番号のアイコンを選び、プリセット量になるまで挽く場合

2. 空のパウダーストッカーを設置した後に [1], [2], [3] のいずれかのアイコンをタッチしてください。
選ばれたアイコンに輪郭が表示され、プリセットされている重量が表示されます。(プリセット値については P11 を参照)
3. 重量のゼロリセットをしたい場合は、[] をタッチしてください。[---] 表示になった後にプリセットされている重量が表示されます。ゼロリセット不要の場合は次に進んでください。
4. [] をタッチすると、豆を挽き始めます。パウダーストッカー内の粉の重量が表示されます。
※挽いている間に [] をタッチすると、本製品は一時停止し、[] が点滅します。もう一度タッチすると再開します。
※挽いている間に [] をタッチすると、本製品は停止し、パウダーストッカー内の粉の重量が点滅した後、プリセットされている重量が表示されます。
※[] をタッチしたときに [] が点滅し、[ERR] と表示された場合はエラーが発生しております。(P15 参照)
空のパウダーストッカーを正しい位置に設置し、[] をタッチして重量のゼロリセットを行ってください。
5. パウダーストッカー内の粉の重量がプリセット量になると自動的に本製品は停止します。
±0.5g のバラツキは正常の範囲です。
停止後 3 秒経過すると、プリセットされている重量が表示されます。
※パウダーストッカーを引き抜くと、[---] 表示になり、戻すとプリセットされている重量表示に戻ります。
※プリセット値とパウダーストッカー内の粉の重量に差がある状況が続く場合は、重量オフセット値の更新を実施してください。
(P12 参照)

マニュアル操作で挽く場合

2. 空のパウダーストッカーを設置した後に [M] アイコンをタッチしてください。[M] アイコンに輪郭が表示され、パウダーストッカー内の粉の重量が表示されます。
3. 重量のゼロリセットをしたい場合は、[] をタッチしてください。[---] 表示になった後に [0.0] が表示されます。
ゼロリセット不要の場合は次に進んでください。
4. [] をタッチすると、豆を挽き始めます。パウダーストッカー内の粉の重量が表示されます。
※挽いている間に [] をタッチすると、本製品は一時停止し、[] が点滅します。もう一度タッチすると再開します。
※[] をタッチしたときに [] が点滅し、[ERR] と表示された場合はエラーが発生しております。(P15 参照)
空のパウダーストッカーを正しい位置に設置し、[] をタッチして重量のゼロリセットを行ってください。
5. 希望する重量になりましたら、[] をタッチして本製品を停止します。
※120 g を超えたら、自動的に停止します。
※パウダーストッカーを引き抜くと、[---] 表示になり、戻すと重量表示に戻ります。

<時間計測モード>

1. [] をタッチしてください。アイコンに輪郭が表示され [] に、単位が[Sec]に切り替わります。

プリセットのアイコンを選び、プリセット時間になるまで待つ場合

2. 空のパウダーストッカーを設置した後に[1]、[2]、[3]のいずれかのアイコンをタッチしてください。
選ばれたアイコンに輪郭が表示され、プリセットされている時間が表示されます。(プリセット値については P11 を参照)
3. [] をタッチすると、豆を挽き始めます。残り時間が表示されます。
※挽いている間に [] をタッチすると、本製品は一時停止し、[] が点滅します。もう一度タッチすると再開します。
※挽いている間に [] をタッチすると、本製品は停止し、残り時間が点滅後、プリセットされている時間が表示されます。
4. 残り時間表示が[0.0]になると、自動的に停止します。
停止後 3 秒経過すると、プリセットされている時間表示に戻ります。

マニュアル操作で待つ場合

2. [M] アイコンをタッチしてください。[M] アイコンに輪郭が表示され、時間表示が 0.0Sec になります。
3. [] をタッチすると、豆を挽き始めます。挽き始めからの時間が表示されます。
※挽いている間に [] をタッチすると、本製品は一時停止し、[] が点滅します。もう一度タッチすると再開します。
4. 希望する量を挽いたら、[] をタッチして停止してください。
5. ※60 秒を超えたら、自動的に停止します。その後、時間表示が 0.0Sec に戻ります。

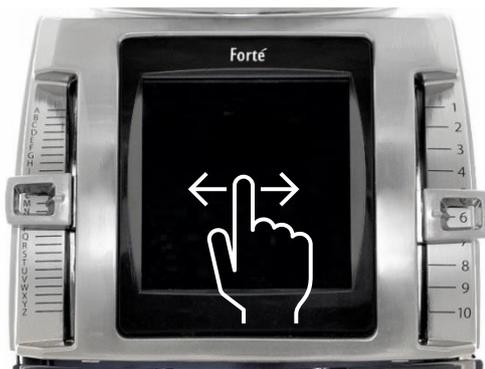
<スリープモード>

待機電力を抑えるために、3 分間操作をしないとスリープモードに入ります。

タッチディスプレイが消灯し、電源プラグを抜いた状態と同じになります。

タッチディスプレイを指でタッチすると、約 3 秒の初期化動作後にスリープモードに入る前の計測モードに復帰します。

※タッチしてもタッチディスプレイが反応しない場合は、スワイプしてください。



調整方法

マイクロレバー

マクロレバー

細かい：A



粗い：Z



1：細かい



10：粗い

<挽き目の調整方法>

一般的な目盛りの出発点は以下を使用してください。

細挽き：4M、中細挽き：6M、中挽き：7M、中粗挽き：9M

焙煎度合い、コーヒーの鮮度、環境湿度、コーヒーの種類、油分など、多くの要因によって同じ設定でも挽き目は変わります。新品の刃では 2L かそれより粗い範囲で調整してください。2L より細かい設定にすると、上刃と下刃が接触して刃を傷めます。刃の破損を防ぐために挽き目調整する際は、豆を挽きながら調整レバーを操作してください。

1. [] をタッチして、重量計測モードに切り替えてください。
2. [M] をタッチして、マニュアル操作に切り替えてください。
3. [] をタッチすると豆を挽き始めますので、マクロの調整レバーを操作して、ご希望の挽き目になるよう調整してください。
4. 重量表示が 5.0g 程度になったら [] をタッチして停止します。
5. パウダーストッカーを取り出し、豆の挽き目を確認して、パウダーストッカーの豆を廃棄してからパウダーストッカーを戻します。
6. 豆の挽き目が良好であれば終了します。調整を継続する場合は 3～5 を繰り返して希望の挽き目になるよう調整してください。
7. マクロレバーの調整目盛りより精密な調整をしたい場合は、マイクロレバーを操作して調整してください。

※マイクロレバー A～Z の幅は、マクロレバー 1～10 の 1 目盛り分とほぼ同等です。

<プリセット値の更新方法>

プリセットアイコンの工場出荷時の設定は下記です。

 重量計測モード [1] = 10.0g [2] = 30.0g [3] = 60.0g

 時間計測モード [1] = 10.0sec [2] = 15.0sec [3] = 30.0sec

1. 値を更新したいプリセットアイコンをタッチしてください。[] または [] → [1]、[2]、または [3]
2. [] または [] をタッチして、値を変更してください。タッチし続けると早送りになります。
3. プリセットする数字アイコンを 3 秒以上タッチしてください。
点滅したら、プリセット値の書き換え完了です。

※設定値を変えた後にプリセットする数字アイコンを 3 秒以上タッチせずに、[▶||] をタッチした場合、設定した重量/時間で動作しますが、[M]や他のプリセット番号や計測モードを切り替えると、元のプリセット値に戻ります。

<重量オフセット値の更新方法>

重量計測モードにおいて、プリセット値とパウダーストッカー内の粉の重量に差がある場合、重量オフセット値の更新を実施してください。

例えば、プリセット値が 10.0g のとき、パウダーストッカー内の粉の重量がいつも 10.4g だった場合、重量オフセット値を 0.4 増やした数値に更新すると、パウダーストッカー内の粉の重量が 10.0g に近づきます。

豆の種類や挽き目設定を変えた後に、プリセット値とパウダーストッカー内の粉の重量の差が大きくなることがあります。

1. 電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. 電源プラグをコンセントに挿入して、初期化動作中に [■] と [] を同時に 3 秒ほど長押ししてください。画面に現在の重量オフセット値 (0.0~5.0 の数値) と単位 [Gr] が表示されます。
3. [^] または [v] をタッチして、重量オフセットを 0.1Gr 単位で調整してから、[▶||] をタッチしてください。重量オフセット値が 2 回点滅し、重量オフセットの更新が完了します。

<重量計の校正方法>

本製品で表示されているパウダーストッカー内の粉の重量と実重量に差がある場合は、重量計の校正を行ってください。

1. 200g のおもりを準備してください。
0.1g 単位で計測できるキッチンスケール等のはかりを持っていて、豆を含む総重量が 200.0g の豆入りストッカーが準備できる場合はおもりの代わりにそれを使用しても問題ありません。この場合、パウダーストッカーの重量は約 120g なので、必要な豆量は約 80g です。
2. [] をタッチして重量計測モードにしてから、パウダーストッカーを外し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
3. 重量計周囲を清掃し、重量計上面の固定ネジが締まっていること、重量計周囲に異物がないことを目視確認してください。
※異物が重量計の底に挟まっていたり、重量計の上に粉が付着していたりすると正しく校正できません。
4. 電源プラグをコンセントに挿入して、初期化動作中に [1] と [2] を同時に 3 秒ほど長押ししてください。画面に [300] など 3 桁の数字と単位 [Gr] が表示されましたら、指を離してください。
※3 桁の数字が表示されない場合、3. の電源プラグを抜くところから再度行ってください。再度、3 桁の数字が表示されない場合は、故障の可能性が有りますので、販売店もしくは弊社コールセンターにお問い合わせください。
5. [M] をタッチしてください。校正モードに切り替わり約 1 秒間 [C A L] 表示され、その後、[200] が点滅します。
6. 200g のおもりまたは豆入りストッカーを丁寧に重量計の上に載せます。
7. 重量計の校正が終わると、約 1 秒間 [P A S] 表示され、その後、実測値 [200±1] が表示されます。
8. 200g のおもりまたは豆入りストッカーを取り外しますと、[0.0] 表示になります。
9. 電源プラグをコンセントから抜いてから再度挿入すると、約 3 秒の初期化動作後に校正モードに入る前の計測モードに復帰します。
10. 空のパウダーストッカーを正しい位置に設置し、[] をタッチして重量のゼロリセットを行ってください。[M] をタッチして表示が [0.0] Gr になりましたら、ゼロリセット完了です。

お手入れ

<豆ホッパー、パウダーストッカー、本体の清掃（週に1回以上）>

良好な状態でお使いいただくために週に1回以上を目安に豆ホッパー、パウダーストッカー、本体の清掃を行ってください。

※本体の重量計周囲の清掃を怠ると、コーヒー粉が重量計の隙間に堆積し、重量計測の機能に影響することがあります。

※豆ホッパーやパウダーストッカーにふき取りでは落ちない固着汚れがある場合は、本体から取り外した後に食器用の柔らかいスポンジと中性洗剤を使って汚れを落としてからすすぎ、完全に乾燥させてから本体に戻してください。

※豆ホッパー(品番：5301012)、豆ホッパー蓋(品番：5301010)、パウダーストッカー(品番：5309160)は消耗品です。欠けや亀裂がある部品は、異物混入や故障の要因となりますので、新しい部品に交換いただくことを推奨します。ご注文の際は販売店もしくは弊社コールセンターにお問い合わせください。

1. 電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. パウダーストッカーを本体から取り外して、空にしてからペーパータオルなどで付着した豆のカスや油分を拭き取ってください。
3. 豆ホッパーの蓋を外し、ホッパーの内側をペーパータオルなどで拭き、付着した豆のカスや油分を拭き取ってください。
4. 重量計の周囲にあるコーヒーの粉をハケのようなものを使って掻き出すか、掃除機などを使って吸い出してください。
5. タッチディスプレイと外装カバーをペーパータオルなどで拭き、付着した油分を拭き取ってください。
6. 豆ホッパーの蓋とパウダーストッカーを元の位置に戻してください。

<カッター刃の分解清掃（1か月に1回以上）>

1か月に1回以上を目安にカッター刃の分解清掃をしてください。

フラットディスクカッター刃の特徴である大きさが揃っている良質なコーヒー粉を挽くためには、定期的にかッター刃に蓄積した油分や微粉を取り除くお手入れが欠かせません。清掃をせずに継続使用しますと、本来の性能を発揮できなくなり、微粉の混入量が増え、豆詰まりなどのトラブルの要因となります。400g/日以上ご使用される場合や、深煎り豆、油分の多い豆を使用する場合は、カッター刃の分解清掃周期を短くすることで、トラブルの未然回避ができます。お客様の環境にあわせて適正な頻度で清掃を実施してください。

※刃に摩耗がありますと、分解清掃しても調整時の挽き目に戻らない事があります。その場合はカッター内刃セットの交換をご検討ください。

1. 内部に残っている豆をすべて出してください。
豆ホッパーのホッパーガードを[CLOSED]の位置にし、豆の流れ込みを止めます。
マクロレバーとマイクロレバーを一番下（10、Z）に移動し、**[☒]** → [M] → [▶||]
の順でタッチして、本製品内の豆がすべて排出するまで連続運転をしてください。
2. 電源プラグをコンセントから抜いてください。
3. 豆ホッパーを反時計回りに止まるまで回転させてから真上に持ち上げて取り外してください。
4. [カッター刃取外し治具]の溝を[カッター上刃]の山に合わせるように乗せ、時計回りに回して[カッター上刃]を取り外してください。
5. 付属のカッター刃清掃用ブラシを使い、上下の刃や固定ネジの溝に堆積した微粉を掻き出し、掃除してください。水洗いはしないでください。

カッター刃取外し治具



時計回り（取外し）

カッター上刃



6. 上下の刃や固定ネジの溝や刃の表面に粉が残っている場合は、掃除機などを使って吸い出し完全に除去してください。
上下の刃の合わせ面からコーヒーの微粉が取り除かれていることを目視で確認してください。
7. [カッター上刃]の刃を下に向け、もとの位置に戻します。手で反時計方向に回して締めてください。
8. これ以上手で締められないところまで回したら、[カッター刃取外し治具]をセットし、2mm程度締めてください。
※治具で締める量はわずかで十分です。締めすぎないように注意してください。
9. 挽き目マクロレバーとマイクロレバーを元の目盛りに戻してください。

＜グラインダークリーナーを使用した清掃（1か月に1回）＞

1か月に1回を目安にクリーナーを使用した清掃をしてください。

長期の使用でカッター刃にはコーヒーの油分やにおいが付着し、コーヒー本来の香りが保てなくなります。グラインダークリーナー（グラインズ）はこの油分やにおいを取り除きコーヒー本来の香りを維持します。

グラインダークリーナー（グラインズ）430g入り(品番：93204)は販売店、弊社コールセンター、もしくはブルーマチックジャパンのWebページからお求めいただけます。

<https://www.brewmatic.co.jp/onlineshop/grindz>（グラインズ）グラインダークリーナー/

1. パウダーストッカーをセットして、内部に残っている豆をすべて出してください。
豆ホッパーのホッパーガードを[CLOSED]の位置にし、豆の流れ込みを止めます。
マクロレバーとマイクロレバーを一番下（10、Z）に移動し、[] → [M] → [] の順でタッチして、本製品内の豆がすべて排出するまで連続運転をしてください。
2. 電源プラグをコンセントから抜いてください。
3. ホッパーを反時計回りに止まるまで回転させてから上に持ち上げて取り外してください。
4. ホッパー中の豆を他の容器などに移し空にしてから、ホッパーの爪を本体の溝に合わせて挿入し、時計回りに止まるまで回してください。
5. グラインダークリーナー（グラインズ）をフタに35g取ります。（フター杯がおよそ35gです）
6. ホッパーにグラインダークリーナー（グラインズ）35gを入れます。
7. ホッパーガードを[OPEN]の位置にし、グラインダークリーナーが流れ込めるようにします。
8. パウダーストッカーを空にしてから本体にセットして、電源プラグをコンセントに挿します。
9. [] をタッチしてグラインダークリーナー（グラインズ）がすべて排出するまで連続運転をしてください。
10. グラインダークリーナー（グラインズ）の残りを除去するために、コーヒー豆を約30gホッパーに入れてから、[] をタッチして、すべて排出するまで連続運転をしてください。
11. パウダーストッカーを空にしてから、挽き目マクロレバーとマイクロレバーを元の目盛りに戻してください。



約 35 g



＜カッター内刃の交換（累計で250Kgまたは10年以上経過したとき）＞

累計250kgの豆を挽く、または10年以上経過したら、カッター内刃の交換を推奨します。

ご用命の際は販売店もしくは弊社コールセンターにお問い合わせください。預かり保守を承ります。

カッター内刃は使用しているうちに摩耗が進み、分解清掃をしても本来のフラットディスクカッター刃の特徴である大きさが揃っている良質なコーヒー粉を挽くことが困難になります。

金属や石などの固い異物の混入や焙煎の浅い豆を挽かれる場合は目安の時期より早く摩耗が進む場合があります。

消耗品

以下、消耗品を取り扱っております。販売店もしくは弊社コールセンターにお問い合わせください。

品番	部品名称	備考
5301010	豆ホッパー蓋	
5301012	豆ホッパー	ホッパーガード、豆ホッパー蓋付き
5309160	パウダーストッカー	
5308550	カッター刃取外し治具	
9501773	カッター刃清掃用ブラシ	
93204	グラインダークリーナー（グラインズ）430g入り	12回分

エラーコード

エラーコード	内容	対処
ERR 001	パウダーストッカー内にプリセット重量以上の粉がある場合、またはパウダーストッカーを載せる前に重量計にプリセット重量以上の重みがかかっている場合、このエラーが発生します。	① パウダーストッカーを引き出して、空にしてから、パウダーストッカーの正面のつまみを持ち、重量計の上に均等に乗るように位置をあわせ、水平に挿入して手を放してください。重量計以外他の部分に接触しないよう丁寧に重量計の上に設置してください。その後、  アイコンをタッチして重量のゼロリセットを行ってください。
ERR 002	コーヒーが挽かれていないか、想定よりゆっくり挽かれていることを示しています。	① 豆ホッパー内に豆が無い場合は豆を補充してください。 ② 豆ホッパーのロックが緩んでいると、安全スイッチが働きモーターが作動しません。時計回りに止まる場所まで回してホッパーガードが真後ろにあるかを確認してください。 ③ ホッパーガードが閉じていると、豆が挽きこまれません。 [OPEN]の位置に回してください。 ①～③の症状がないのに、ERR 002が発生する場合は、目詰まりを起こしている可能性があります。[▶]をタッチすることで継続することができますが、度々発生する場合はカッター刃の分解清掃をしてください。(P13 参照)。
ERR 003	重量計に異常な加重が架かっています。 パウダーストッカーのつまみに加重が架かった状態やパウダーストッカーの位置がずれ、重量計に均等に加重が架かっている場合、このエラーが発生します。	パウダーストッカーを引き出して、空にしてから、パウダーストッカーの正面のつまみを持ち、重量計の上に均等に乗るように位置をあわせ、水平に挿入して手を放してください。パウダーストッカーが重量計以外他の部分に接触しないよう丁寧に重量計の上に設置してください。 重量計測モードで挽いている最中にパウダーストッカーを触らないでください。
ERR 004	重量計測機能の異常	重量計測機能が正常に機能しません。預かり修理を承ります。 販売店もしくは弊社コールセンターにお問い合わせください。

トラブルシューティング

症状	処置
電源プラグをコンセントに挿してもタッチディスプレイが消灯のままで電源が入らない。	① 電源プラグがコンセントに深く挿入されているか確認してください。 ② コンセントに 100V が供給されていることを確認してください。 ③ 元ブレーカーが OFF になっていないことを確認してください。 ①～③に問題がないのに発生している場合は、故障の可能性がございます。販売店もしくは弊社コールセンターにお問い合わせください。預かり修理を承ります。
タッチディスプレイが消灯した。	スリープモードになりました。仕様どおりの動作です。 タッチパネルを指でタッチすると、約 3 秒の初期化動作後にスリープモードに入る前の計測モードに復帰します。(P10 参照)
[▶▶]アイコンの輪郭が表示されているが、本製品のモーターが作動しない。	① 豆ホッパーのロックが緩んでいると、安全スイッチが働きモーターが作動しません。時計回りに止まるところまで回してホッパーガードが真後ろの向きで固定してください。 ② モーターの保護回路がはたらき、モーターが停止している可能性があります。電源プラグを抜いて 30 分以上経過後に、再度電源プラグをコンセントに挿入して、使用を再開してください。 ①～②に問題がないのに発生している場合は、故障の可能性がございます。販売店もしくは弊社コールセンターにお問い合わせください。預かり修理を承ります。
[▶▶]アイコンの輪郭が表示され本製品のモーターが作動しているがコーヒー豆が挽けない。または、少しずつしか挽けない。	① 豆ホッパー内に豆が無い場合は豆を補充してください。 ② ホッパーガードが閉じていると豆が挽きこまれません。[OPEN]の位置に回してください。 ③ 2L より細かい設定になっている場合は、挽き目を 2L より粗い設定にしてください。 ①～③のに問題がないのに発生している場合は、豆詰まりを起こしている可能性があります。カッター刃の分解清掃をしてください。(P13 参照)。 カッター刃の分解清掃しても解消しない場合は、故障の可能性がございます。販売店もしくは弊社コールセンターにお問い合わせください。預かり修理を承ります。
挽き目設定を変えていないが微粉の混入量が増えた。	① コーヒー豆が古い場合は豆ホッパーを清掃し、新鮮なコーヒー豆を入れてください。 ② カッター刃の分解清掃をしてください。(P13 参照) ③ 内刃が摩耗していないか、内刃のネジがゆるんでいないかを確認してください。 内刃の摩耗が原因の場合は、カッター内刃の交換をお勧めします。カッター内刃の交換をご用命の際は販売店もしくは弊社コールセンターにお問い合わせください。
コーヒー豆を挽いている途中にモーターの作動が止まってしまった。	① 120g/60 秒を超えて連続運転していた場合は仕様どおりの動作です。10 分以上休止してから、使用を再開してください。 ② モーターの保護回路がはたらき、モーターが停止している可能性があります。電源プラグを抜いて 30 分以上経過後に、再度電源プラグをコンセントに挿入して、使用を再開してください。 ①～②に問題がないのに発生する場合は、故障の可能性がございます。販売店もしくは弊社コールセンターにお問い合わせください。預かり修理を承ります。

保障とアフターサービスについて

1. 保証書

- 本書に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。
※ 記入が無い場合でも、お買い上げ日を証明する書類がある場合は、本保証書と一緒に保管してください。
- 保証書記載の修理規定をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をお確かめいただき、不具合が直らないときは電源プラグをコンセントから抜き、当社に修理についてご相談ください。

- 保証期間中の修理
保証書の規定により無料修理致します。お買い上げの販売店または当社までお申し出ください。
- 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理をさせていただきます。当社にご相談ください。
- 販売店が独自に定める延長保証(長期保証)サービスをご利用の場合
お買い求めの販売店にご相談ください。

コールセンター

ブルーマチックジャパン株式会社

045-947-0804

受付時間：365日 24時間

※夜間については、受付業務のみとさせていただきます。

3. アフターサービスについてご不明な場合

- アフターサービスについてのご質問等ありましたら、当社にお問合せください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- | | |
|--------|-----------------------|
| ● お名前 | ● 商品名 Forté BG |
| ● ご住所 | ● シリアル番号（本体底面のラベルに記載） |
| ● 電話番号 | ● 故障の状態、状況（出来るだけ詳しく） |

ご使用の際の注意事項

マシンを常に最適な状態に保つために、定期的な清掃作業を行ってください。

清掃作業は取扱説明書に従い、適切に洗浄してください。

使用開始前及び終了後は取扱説明書に従い洗浄してください。

使用中に取扱説明書に書かれていない不具合が発生したら直ちにご使用を止め、当社へご連絡ください。

補修用性能部品の保有期間について

当社では、補修用性能部品について、最終輸入日から5年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保 証 書 (業務用マシン)		
型 名	バラツツア社製グラインダー Forté BG	
シリアル番号		
保証期間	ご購入時または設置の早い方の日から1年間	
※お買い上げ日	年 月 日	
※お客様	お 名 前	
	住 所	〒 電話 ()

- ※印欄に記入の無い場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
- 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■対象マシン

本保証書に記載のマシン。

■サービス提供

「預かり修理」

■延長保証サービス規程

ブルーマチック保証サービス（以下「本保証」といいます。）は、商品のご購入または設置の早い方の日から開始され、ブルーマチックジャパン株式会社（以下「ブルーマチック」といいます）がサービスを運営・提供します。保証書に記載された製品（以下「本製品」といいます。）について、「保証サービス規程」（以下「本規程」といいます。）に定めるところに従い、無償修理（以下「保証修理」といいます。）を提供します。

第1条. 保証範囲

1. 本保証は、本製品の取扱説明書や注意書に従って正常に使用したにもかかわらず、本製品に生じた電氣的・機械的故障で且つ、本製品のメーカー保証規定にて保証対象となる故障（以下「自然故障」といいます。）を対象とします。
2. 第10条で定める「保証の適用除外事項」に該当する場合には、自然故障であっても本保証の対象外とします。

第2条. 保証期間

本保証が効力を有する期間は、本製品のご購入または設置の早い方の日から開始し、その後1年間が経過した時点で満了いたします。（以下、この期間を「保証期間」といいます。）保証期間内において本製品に係る修理回数に制限はないものとします。保証期間内に初期不良等によりブルーマチックより交換品（新品）が提供された場合、その他事由の如何を問わず、保証終了日は変更されないものとします。

第3条. 保証内容

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、当該自然故障に係る保証修理に要する金額が、購入金額を超えない範囲で保証修理を行います。（以下、「上限金額」といいます。）なお、修理見積りが上限金額を超えた場合は、差額をご負担いただくことで修理いたします。保証上限金額は消費税込の金額となります。本製品は「預かり修理」という方法でサービスを提供いたします。代替機を発送いたしますので、ブルーマチックジャパンの指定する拠点までお客様より本製品を送付いただいた上で保証修理を行います。この場合の送料は本保証に含まれます。

第4条. 保証の終了

以下の事項に該当する場合には、本保証は終了となります。

1. 第2条に定めるところに従い、保証期間が満了した場合。
2. メーカーの倒産、事業撤退、修理部品の供給停止、その他メーカーがその責任により本製品の修理を行わず、又は修理のための部品等の供給を行えない状態となった場合（事業承継等により、メーカーと同水準・同条件にて修理を行う者が存在する場合、又は代替品の提供が可能な場合は除く。）

第5条. お客様のご負担となる主な費用

以下に定める事由ないし費用は、本保証には含まれておらず、専らお客様のご負担によるものとします。但し、本保証の範囲外の事由ないし費用を、これらに限定する趣旨ではありません。

1. 本製品本の着脱費用（梱包材等諸費用を含む。）。
2. 本製品の設置・工事費用及び本製品の処分に係る費用。
3. 本保証利用時にお客様からのご連絡に必要な費用、その他通信費用。
4. お客様のご都合により、出張又は引取を希望される場合のこれに伴う諸費用（出張修理、引取費用、梱包材等）。
5. 本保証の対象外となる故障及び当該故障の修理に必要な費用。
6. 本保証の対象外となり、保証修理をキャンセルされた場合に必要となる技術費用、出張費用、物流費用、見積費用等の一切の費用。
7. 修理以外の点検費用や消耗品を使用した場合の費用。

第6条. 保証修理の依頼方法

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、お客様は、ブルーマチックコールセンター（下記記載）に連絡して保証修理をご依頼ください。保証修理受付時に、保証修理手続の手順をご説明しますので、説明手順に従ってください。

ブルーマチックコールセンター045-947-0804

1. お客様による保証修理のご依頼をいただいた際、ブルーマチックコールセンター、お客様の本保証に関する保証登録情報（製品情報及び個人情報）の確認をいたします。お客様より保証修理依頼に際してご通知いただいた情報と登録情報との間に相違があった場合、その他お客様より必要な情報のご通知をいただけない場合には、本保証が提供されない場合がございますので、お客様におかれましては、本保証の加入後、保証書（必要情報が記載されております。）の保管・管理に十分ご注意くださいようお願いいたします。
2. ブルーマチックが必要と判断した場合に本製品に係る記憶装置のデータの消去を行うことについては、お客様には事前にご同意いただいているものとし、何ら異議を述べないものとします。
3. お客様のご都合により、修理受付日から1カ月経過しても修理の着手ができない場合には、修理受付を無効とします。

第7条. 登録情報の変更

以下の場合には、お客様におかれましては、速やかにブルーマチックコールセンターまでご通知ください。ご通知いただけなかった場合には、本保証が適用されない場合があります。なお、保証書に記載されたお客様情報の変更は、保証書に記載されたお客様から、ご通知いただいた場合に限り承ります。

1. 保証期間中に加入者名の変更や連絡先電話番号、住所等の変更がある場合。本規程をご説明の上、お客様より新しい所有者の情報をご通知ください。系列店の譲渡のみ所有者情報変更を承ります。本製品の第三者への転売や譲渡をされる場合には、本保証は終了となります。

第8条. 個人情報の使用

ブルーマチックは、お客様よりご提供いただいた保証項目、個人情報等を保管、使用、処理の上、本保証を提供します。また、本保証を提供する為、以下の場合に限り、ブルーマチックの責任において、事業協力会社（メーカー・修理会社・販売店・金融機関等）へお客様の個人情報を提供します。

1. 保証修理（代替品の提供を含む。）に際してブルーマチックと事業協力会社による個人情報の共有が必要となる場合。
2. 本保証およびその他のサービスの品質向上を目的として、お客様に電子メール、郵便物によるアンケート調査。
3. サービス案内およびキャンペーン等の実施。

4. 本保証の品質向上を目的として、お客様における本保証の利用に関する情報を収集し分析すること。
5. 個人情報の取扱いの全部または一部を委託する場合があります。
6. ご提供いただいた個人情報を同意なしに第三者へ提供することはありません。

お客様からの求めにより、ご提供いただいた個人情報について、その「利用目的の通知、開示、追加訂正または削除、利用の停止消去および第三者への提供の停止（以下「開示等」といいます。）」に応じます。

第9条. 間接損害

本保証に関する法律上の請求において、間接損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失等）、特別損害、付随的損害、拡大被害、他の機器や部品に対するデータの損失又は損傷、第三者からの賠償請求に基づく損害、身体障害（障害に起因する死亡及び怪我を含む。）並びに他の財物に生じた損害に関して、ブルーマチックは一切の責任を負わないものとします。但し、ブルーマチックの故意又は重過失によるものがある場合には、この限りではありません。

第10条. 保証の適用除外事項

以下の事項に該当する場合には、本保証は適用されないものとします。

1. お客様又は第三者の故意若しくは過失又はメーカー保証の対象外である加工、改造、修理、設置、工事若しくは清掃に起因する故障及び障害。
2. 使用する水質、水圧等の不良が原因で発生した故障及び損傷。
3. 取扱説明書、注意書に記載している取扱方法とは異なる不適切な使用（日常のお手入れ、改修行為、増設、電池漏洩等）、取扱いが不適当であることに起因する故障及び損害。
4. メーカーが定める想定された用法を超える過酷な使用に起因する故障及び損害（車両、船舶への搭載、高温、高湿度等の特殊な環境での使用を含む。）。
5. 破損、落下、衝撃、火災、落雷、過電流、異常電圧、塩害、公害、水害、地震、その他天災地変や、異物の混入（金属、カビ、塵、埃、虫、鼠等）の外部要因事由に起因する故障及び損害。
6. 消耗品（豆ホッパー、パウダーストッカー、カッター内刃セット、カッター刃取外し治具等ブルーマチックジャパンが指定する部品）の交換に係る費用。
7. 消耗品単体の故障及び損害。
8. メーカー指定外の消耗品の使用に起因する故障及び損害。
9. 盗難、紛失、その他の事由により、お客様が本製品を保有しておらず、本製品の状態が確認できない場合。
10. 経年劣化あるいは使用損耗により発生する現象で、通常使用に支障の無い部分で経年劣化の範囲に相当するもの（外装品、塗装面、メッキ面、樹脂部分、スプリング等のヘタリ、自然退色、劣化、錆、腐食、カビ変質、変色、その他類似の事由等）。
11. 本製品の機能及び使用の際に影響の無い損害（外観、傷、液晶の画面焼けやピクセル抜け及び輝度低下を含む）。
12. 本製品の仕様、構造上又は本来的性質に基づく制限、不利益等。
13. 本製品の付属部品、アクセサリ、周辺機器等の本製品以外の製品の故障、増設機器等の相性に起因する故障及び不具合。
14. ブルーマチックが保証修理の依頼を受けた本製品の点検・診断を実施した結果、故障の存在を確認できなかった場合。
15. 本保証の対象外に起因する故障であることが判明した場合の修理技術費用、部品代金、出張費用、物流費用、修理見積費用等。
16. 修理を伴わない調整（挽き目の調整、重量計の校正等）、清掃。
17. お客様ご自身で付加されたラベル・シート・カバー類、塗装、刻印等を元の状態に復旧する費用。
18. 本製品を日本国外に持ち出された場合の日本国外からの保証修理依頼。
19. 国又は公共団体の公権力の行使に起因する故障及び損害。
20. 核燃料物質若しくは核燃料物質による汚染された物の放射性、爆発性その他の有害な特性に起因する故障及び損害。
21. 戦争（宣戦の有無を問わず）、外国の武力行使、革命、内乱その他これらに類似の事象に起因する故障及び損害。
22. 本製品の損害に係る申告内容の真実性について明らかな疑義がある場合。
23. 本製品と異なる製品（シリアル番号等が異なる場合等）の修理をご依頼された場合や、本製品のシリアル番号が確認できない場合（但し、製品の内蔵データ等から本製品と同一と確認ができる場合を除く。）

第11条. 本保証の解約

本保証は加入後から保証期間終了までの間、解約することは出来ません。

第12条. 解除

ブルーマチックは、お客様が、次のいずれかに該当する場合には、お客様に対する書面による通知をもって、本保証を解除することができます。

1. 暴力団、暴力団員（暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者を含む。）、暴力団準構成員、暴力団関係企業その他の反社会的勢力（以下「反社会的勢力」といいます。）に該当すると認められること。
2. 反社会的勢力に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等の関与をしていると認められること。
3. 反社会的勢力を不当に利用していると認められること。
4. 法人である場合において、反社会的勢力がその法人の経営を支配し、又はその法人の経営に実質的に関与していると認められること。
5. その他反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有していると認められること。

前項の規定による解除が自然故障の後になされた場合であっても、前項各号の事由が生じた時から解除がなされた時まで発生した自然故障については、保証修理を行いません。この場合において、既に保証修理を行っていた時は、ブルーマチックは、当該保証修理費用相当額の返還を請求することができます。

第13条. その他の注意事項

1. 故障並びに損害の認定等についてブルーマチックとお客様の間で見解の相違が生じた場合には、ブルーマチックは、中立的な第三者の意見を求めることができます。
2. 修理依頼品において、返却可能日をお知らせしている場合（お客様のご都合でお知らせできない場合を含む。）、依頼をお受けした日から3ヶ月を経過してもお受け取りいただけない時は、ブルーマチックにて処分します。その際には修理費用（キャンセルに伴う一切の費用を含む。）に加え、処分に要した費用の一切を、ブルーマチックの請求に従い速やかにお支払いいただくものとします。
3. お客様は、本製品をご購入または設置いただいた時点で、本規程にご同意いただいたものとします。

第14条. 本規程の変更

1. ブルーマチックは、本規程の目的に反しない限度で、法令に従って本規程を変更することがあります。
2. 前項に基づき本規程を変更する場合には、ブルーマチックのホームページへの掲載その他適切な方法により、変更内容及び変更時期を事前にお客様に周知することとします。

輸入代理店
ブルーマチックジャパン株式会社
神奈川県横浜市都筑区仲町台5-4-22



ブルーマチックジャパン株式会社

〒224-0041

神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22

<http://www.brewmatic.co.jp/>



050224